

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度第6回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○報告事項（公開）

(1)「上越市過疎地域持続的発展計画変更(案)について」の答申に対する回答について

### ○協議事項（公開）

(1)令和5年度牧区地域協議会委員研修について

### ○自主的審議事項（公開）

(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

## 3 開催日時

令和5年9月19日（火）午後6時30分から午後8時05分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、高澤富士雄、清水薫、難波一仁、横尾哲郎

・事務局：牧区総合事務所 米川所長、小林次長（総務・地域振興グループ長兼務）、佐々木市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、藤井地域振興班長、田中地域振興班主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

・挨拶。

【米川所長】

・挨拶。

【西山会長】

・会議録の確認：難波委員に依頼。

・報告事項である、(1)「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について」の答申に対する回答について、事務局より説明を求める。

【田中主事】

—資料No. 1に基づき説明—

【西山会長】

・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

（質問、意見等なし）

【西山会長】

・質問や意見等がないため、報告事項を終了する。続いて、協議事項(1)令和5年度牧区地域協議会委員研修について、事務局より説明を求める。

【田中主事】

—資料No. 2に基づき説明—

【西山会長】

・今程説明があった事務局案について、質問や意見等はないか。

【井上委員】

・前回も申し上げたが、大火からの復興支援の在り方だけではなく、まちづくりの観点に重きを置いた研修内容としていただきたい。

【小林次長】

・事務局案では、糸魚川市役所の職員からまちづくりについて説明いただく場を設けている。市役所職員の説明をお聞きいただく中で、糸魚川市のまちづくりについて知識を深めていただければと思う。

【西山会長】

- ・それでは、事務局案のとおり糸魚川市大町方面へ視察研修に伺うこととしてよいか。  
(賛成多数)

【西山会長】

- ・視察研修の実施にあたり、出欠報告を9月26日までに事務局へ提出いただきたい。

【小林次長】

- ・事前に井上委員からいただいたご意見について回答させていただく。今回視察先を決めるにあたり、予算に関する事前説明が不足していた。地域協議会委員の研修に係る予算は、旅費や視察受入れ団体への土産代など、約6万円の予算を見込んでいる。そのうち、有料道路使用料は8千円であり、移動範囲が限られることや県外への研修が難しい旨の説明が不足していたことについてお詫び申し上げる。

【西山会長】

- ・他に質問や意見等がないため、協議事項を終了する。
- ・続いて、自主的審議事項(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」についてに入る。はじめに、令和6年度地域独自の予算提案及びイタヤカエデの実施事業における協力依頼について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—参考資料に基づき説明—

- ・提案事業の実施にあたり、地域協議会委員の事業への関わり方について説明させていただく。事業の実施主体として上越里山倶楽部に承諾いただいたところだが、会員は10名程で他の地域でも活動されており、会員の人数に限りがある。そのため、10月のイベント実施に伴い、地域協議会委員からもご協力をお願いしたい。イベントの開催は来年10月を予定しており、現地域協議会委員の任期満了後となるが、牧区の地域活性化につながる事業であることから、現地域協議会委員から2～3名、イベント実施にご協力いただきたいと思う。

【西山会長】

- ・今程説明があった件について、質問や意見等はないか。

【井上委員】

- ・「令和6年度地域独自の予算を活用した取組の概要」の支出を見ると、取り組みやすいものと取り組みにくいものが挙げられる。例えば、「試食用ケーキ」は技術面や施設面

など、具体的な取組内容を考えていく必要があるのではないかと。

**【藤井班長】**

- ・支出に記載している「試食用ケーキ」は、イベント参加者に樹液コーヒーを試飲いただく際、コーヒーに合うお菓子として牧区内で製造されているクルミを使用したデザートを提供する予定である。

**【井上委員】**

- ・メープルシロップを材料としたケーキを作るわけではないのか。

**【藤井班長】**

- ・そのとおりである。イベントでは区内の樹木を紹介する目的もあり、クルミの木の紹介やクルミを使用したケーキの提供を考えている。

**【難波委員】**

- ・支出に記載している「展示用特産木」について、イタヤカエデ以外の木を展示するのか。

**【藤井班長】**

- ・区内のケヤキなどを鉢に入れて展示することを考えている。

**【小林次長】**

- ・実施スケジュールでは、10月に「イベント開催」と「イタヤカエデ苗木採取と植樹指導」を別日で開催することを予定している。牧区地域協議会からの提案事業として、上記に記載している「イベント開催」にご協力いただきたい。

**【井上委員】**

- ・現段階で「イタヤカエデ苗木採取と植樹指導」への協力は求められていないということか。

**【小林次長】**

- ・そのとおりである。

**【井上委員】**

- ・入手方法としては、購入した苗木と区内で採取した苗木の両方を扱うのか。

**【小林次長】**

- ・購入する苗木はない。「イタヤカエデの苗木代」と記載しているものは、苗木を鉢に入れて希望者に渡す際の鉢代となる。

**【清水委員】**

- ・「木材工作費」は、工作イベントなどに係る経費なのか。

**【藤井班長】**

- ・10月に予定しているイベントでは講演の他に、別室で子どもを対象とした「木に触れる工作体験」を実施する予定である。イベント開催については牧小学校にも周知を行い、多くの子どもたちに参加いただきたいと考えている。

**【難波委員】**

- ・改選後も地域協議会委員でなければならないのか。

**【米川所長】**

- ・そのようなことはないが、現地域協議会委員からの提案であることから、事業に賛同いただける方はぜひご協力いただきたい。もちろん、新たに地域協議会委員になられる方、区内で興味をお持ちの方も一緒に活動していただければと考えている。

**【坂井委員】**

- ・事業の実施にあたり実施主体は上越里山倶楽部だが、区内で窓口となるのはイタヤの梨本氏という解釈でよろしいか。

**【藤井班長】**

- ・本来の窓口は上越里山倶楽部の事務局であるが、区内の担当者はイタヤの梨本氏となる。

**【西山会長】**

- ・それでは、ご協力いただける方は挙手を求める。

(地域協議会委員 9名挙手)

**【藤井班長】**

- ・提案事業の予算成立の可否に関わらず、事業に賛同いただいた方には改めてお声がけさせていただきたい。

**【難波委員】**

- ・今回の提案は新規事業のため自己負担が3割となる。以前、地域協議会で協賛金を集める話もあったが、どのような形になるのか。

**【小林次長】**

- ・可能であれば、地域協議会の皆さんからご協力いただきたい。

【難波委員】

- ・ 牧区地域協議会として提案しているため、協力することが望ましい。

【藤井班長】

- ・ 地域協議会に加え、区内全体に協賛金を募ることなども考えていきたい。

【西山会長】

- ・ 詳細については、事業を進める中で事務局より各委員に連絡するので、協力をお願いしたい。なお、今程の「令和6年度地域独自の予算を活用した取組の概要」は回収させていただく。
- ・ 続いて、本日の自主的審議事項の進め方について、事務局より説明を求める。

【小林次長】

—資料No. 3に基づき説明—

- ・ 「子育て・移住」の提案では、農業体験を通して牧区を知ってもらい、生活したいと感じてもらうために区内巡回体験ツアーを実施することとしている。この提案について、牧区ふるさと観光振興会に実施主体を担っていただけないか相談したところ、ツアーの受付事務を担う人材がいいため、実施主体になるのは難しいとのことであった。一方、「子育て・移住」の施策に必要な取組であることから、牧区ふるさと観光振興会で対応が難しい場合、牧振興会へ提案を持ちかけたいと考えている。本日は牧振興会に依頼すべきかどうか、実施主体となり得る他の団体があるかなどをグループで協議いただきたい。また、空き家の情報発信や収集、体験受入れ体制の検討など、記載内容についても今一度整理していただきたい。

(2班に分かれてグループ討議)

【西山会長】

- ・ 定刻となったので、全体発表に移る。1班では、「空き家に住んでもらい、UターンやIターンを促す」、「お試し移住を通して、四季を感じてもらう」、「畑を提供してもらい、四季を通じて農業体験を行う」、「空き家の情報を発信する」、「空き家の話と切り離し、宿泊ではなく日帰りツアーを行う」などの意見が挙げられた。その際、牧振興会に窓口となっていただきたいが、職員の人数も少ないことから、牧振興会だけに任せるとは難しいなどの意見が挙げられた。続いて、2班から発表を求める。

【飯田副会長】

- ・2班では、「農業体験は子どもだけでなく、親子一緒に参加してもらおう」、「すぐに住める状態の空き家もあれば、雨漏りしてすぐに住めない空き家もある」、「空き家は個人の財産であることから、一步踏み込んだ情報発信は難しい」などの意見が挙げられた。牧振興会に提案を持ちかけるにしても、予算や人的な問題もあることから、すぐに依頼することはよくない。牧振興会だけではなく、様々な方と話し合いの場を持ちながら牧区の今後を考えるなど、すぐに結論を出すのではなく時間をかけて話し合いを行うことが大切であるとの意見が挙げられた。

【西山会長】

- ・最後に事務局より説明を求める。

【小林次長】

- ・両班から牧振興会が実施すべきと挙げられていたことから、最終的には牧振興会に提案を持ちかけたいと考える。一方、いきなり牧振興会に依頼してもすぐ行動に移すことは難しいと思われることから、今年3月に開催したような形で、牧振興会、牧区地域協議会、牧区総合事務所の3会で、テーマを決めた意見交換会を開催したいと考える。意見交換会の開催にあたりご意見を伺いたい。

【西山会長】

- ・今程事務局から説明があったとおり、3会での意見交換会についてご意見等のある方は発言を求める。

【井上委員】

- ・意見交換会を開催するにあたり、ある程度どのような形で持っていくかを考え、牧振興会と一緒に取り組みたくなるような構想を固めたほうがよい。

【西山会長】

- ・それでは、3会での意見交換会の開催について賛否を伺いたい。開催に賛成の方は、挙手を求める。

(全員挙手)

【米川所長】

- ・井上委員が発言されたとおり、地域協議会で提示した課題をどのように持ちかけるか事務局で協議し、地域協議会と共有していきたい。また、他の団体と話し合いの場を持つ意見も挙がっていたことから、それらも踏まえて協議していきたい。

#### 【西山会長】

- ・以上で、自主的審議事項を終了する。
- ・最後に、その他連絡事項について、事務局より説明を求める。

#### 【田中主事】

- ・各区の「地域活性化の方向性」について（諏訪区、浦川原区）
- ・各地域協議会からの意見書の提出について（高士区、安塚区、大潟区）
- ・次回地域協議会の開催について、年間スケジュールから変更し10月31日の火曜日、午後6時30分からとする。後日、案内文を送付するため、出欠についてご報告いただきたい。

#### 【西山会長】

- ・他に意見を求めるが発言がないため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

#### 【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

#### 9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：[maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

#### 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。